

科目実施計画書

生産機械、生産電気、生産電子情報、建築施工システム技術 科

訓練科目の区分		授業科目名	必須・選択	開講時期	単位	時間/週
教育訓練課程	応用課程	工業技術英語	必須	I Ⅱ期	2	1
教科の区分	系共通専攻学科					
教科の科目	技術英語					
担当教員	研究室名	内線電話番号	電子メールアドレス			

授業科目に対応する業界・仕事・技術

機械、電気、電子情報、建築に関する技術英語

授業科目の訓練目標

授業科目の目標	No	授業科目のポイント
将来外国との交流があることを想定して工業英語の長文の読解と英作文、外国人とのコミュニケーションに必要なリスニング力の習得を目標とする。また、生産関連の技術研究論文および工業法規関連英語文献の購読のための基礎力を習得することを目標とする。	①	工業英語検定3級、4級の合格を目標とする。
	②	技術英語の英訳の基礎を学ぶ。
	③	英訳に必要な英文法を学ぶ。
	④	工業英語に関する長文和訳を演習する。
	⑤	専門分野に関する研究論文や専門書および工業法規関連文献の長文和訳を演習する。
	⑥	意思疎通に必要なレベルのリスニング力をつける。
	注意事項	単位認定はⅠ期、Ⅱ期を通して行う。2期分の合計を100点満点とし評価を行う。

授業科目受講に向けた助言

予備知識・技能技術	今までに学んだ英文法を復習しておくこと。
授業科目についての助言	一般的な英語と違い、技術英語には特有の単語の意味や表現方法があります。技術者としてこれから活躍する為に、しっかり学習するようにしましょう。また、資格試験を積極的に受験し、履歴書に書ける資格や技能の習得を目指しましょう。
教科書および参考書(例)	New English Composition Workbook、その他プリント教材
授業科目の発展性	工業技術英語 ----- 開発課題

評価の割合(例)

指標・評価割合	評価方法						合計
	期末試験	小テスト / 授業内提出物	授業内提出物	その他			
	30	40	10	20			100
評価割合	授業内容の理解度	20	20				Ⅰ期、Ⅱ期
	技能・技術の習得度	10	10				
	コミュニケーション能力		10				
	取り組む姿勢・意欲			5	10		
	自宅学習			5			
積極性				10			

回数	訓練の内容		訓練の運営方法	訓練課題 予習・復習
1週	オリエンテーション、工業英語作文、文法、リスニング		講義、演習、質疑	授業内容の復習
2週	読解、工業英語作文、文法、リスニング		講義、演習、質疑	授業内容の復習
3週	読解、工業英語作文、文法、リスニング、小テスト①		講義、演習、質疑、試験	授業内容の復習
4週	読解、工業英語作文、文法、リスニング、小テスト②		講義、演習、質疑、試験	授業内容の復習
5週	読解、工業英語作文、文法、リスニング、小テスト③		講義、演習、質疑、試験	授業内容の復習
6週	読解、工業英語作文、文法、リスニング、小テスト④		講義、演習、質疑、試験	授業内容の復習
7週	読解、工業英語作文、文法、リスニング、小テスト⑤		講義、演習、質疑、試験	授業内容の復習
8週	読解、工業英語作文、文法、リスニング、小テスト⑥		講義、演習、質疑、試験	授業内容の復習
9週	読解、工業英語作文、文法、リスニング、小テスト⑦		講義、演習、質疑、試験	授業内容の復習
10週	読解、工業英語作文、文法、リスニング、小テスト⑧		講義、演習、質疑、試験	授業内容の復習
11週	読解、工業英語作文、文法、リスニング、小テスト⑨		講義、演習、質疑、試験	授業内容の復習
12週	読解、工業英語作文、文法、リスニング、小テスト⑩		講義、演習、質疑、試験	授業内容の復習
13週	読解、工業英語作文、文法、リスニング、(小テスト再試)		講義、演習、質疑	授業内容の復習
14週	読解、工業英語作文、文法、リスニング、(小テスト再試)		講義、演習、質疑	授業内容の復習
15週	読解、工業英語作文、文法、リスニング、(小テスト再試)		講義、演習、質疑	授業内容の復習
16週	読解、工業英語作文、文法、リスニング、(小テスト再試)		講義、演習、質疑	試験範囲の復習
17週	期末試験		試験	授業内容の復習
18週	試験返却、テキストチェック、資格試験対策(期末追試験)		講義、演習、質疑	授業内容の復習